

シンポジウム

# 「大学における地域貢献のあり方」

第一部 地域貢献型の取り組み―事例報告―

【概要報告】

岸江信介（徳島大学教授）

「シンポジウムの目的」

【事例報告】

1. 村田真実（徳島大学大学院生・日本学術振興会特別研究員）

「言語景観への取り組み」

2. 董艶秋・ビクトリア プロイヤー（徳島大学大学院生）

「地域連携のケーススタディ―翻訳事業について―」

3. 峪口有香子・陳英（徳島大学大学院生）

「徳島への外国人旅行者に対するアンケート調査

―震災後の日本に対するイメージ―」

第二部 指定討論―事例報告の評価と

大学における地域貢献のあり方に関する議論―

指定討論者

中井精一（富山大学人文学部教授）

島村恭則（関西学院大学社会学部教授）

高岡弘幸（福岡大学人文学部教授）

岡田浩樹（神戸大学大学院国際文化学専攻教授）

第三部 全体討議

1. 指定討論者間の討議

2. 全体討論（フロアーからの意見）

主催：国際化に伴う多言語表示推進グループ

共催：徳島大学総合科学部地域創生コース

日時：平成25年2月3日（日）午後2時～午後5時30分

場所：徳島大学総合科学部1号館3階南棟310号室

連絡先：徳島大学総合科学部日本語学研究室

TEL・FAX：088-656-9309

Email：kishie.shinsuke@tokushima-u.ac.jp